

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62199	飛騨あさひイベント開催事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 観光振興費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	受益者数	不特定多数
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域資源を最大に生かした観光イベントの開催により、住民とのふれあい、交流人口の増大を図ることが出来る。		
概要	事業の実施手法(手段)	美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森水祭り(事業実施団体への負担金)		
前回の評価からの改善・改革のポイント	リピーターへの紹介ハガキの発送やインターネットを使ったPRの拡大を図る。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	実績値	達成率(%)	
① イベント回数	イベント開催数	目標値	回		7	6	6	
		実績値			7	6	6	-
算出根拠等	イベント開催数	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	実績値	達成率(%)	
① 交流人口	イベント開催時の入込数	目標値			9,178	9,178	9,200	10,000
		実績値			6,694	8,678	8,900	-
算出根拠等	イベント開催時の入込数	達成率(%)			73	95	97	-
コスト面	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	実績値	達成率(%)	
① 受益者1件当たり(円)	交流人口	目標値	(A/B)		1,936	1,440	1,404	1,389
		実績値			6,694	8,678	8,900	9,000
算出根拠等	交流人口	達成率(%)						

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
歳出(千円)	(A)	12,959	12,498	12,500	11,230
受益者負担(使用料・負担金等)					
その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
一般財源		12,959	12,498	12,500	11,230

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・当地域は国道361号線の通行量が年々減少している状況にあり、数々のイベント開催は賑わいを取り戻す意味で重要な役割を果たしている。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・四季折々の地域風土を活かしたイベントだけに住民も憩いの場・交流の場であり、体験型の内容については良い反響である。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・各種イベントを通じて地元産業との一体性が生まれつつある。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	・集客数が年々増えて来ている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・広報、Hitnet、インターネット等、複数の手段を用いてPRする事が有効。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・イベントの内容にメリハリがある様に工夫する必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・限られたイベントの負担金のなかで、規模を小さくすることなく行っているが、材料費等の高騰により厳しい状態にある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・誘客1人あたり1,000円以内でコストを下げる
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・投入コストに見合った成果が上がっている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・PR方法を増やし、内容を検討しながら中身の充実したイベントとする。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・地域主体の事業とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	12,500	11,230	△ 1,270	10,100	10,100
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	12,500	11,230	△ 1,270	10,100	10,100

予算要求の概要	イベント開催負担金
要求額増減理由	自主開催に向けた事業内容とするため
①支所	平成26年度まで継続し、事業の必要性や効果を考慮しながら、自主開催が可能になる様に検討していく。
②本庁所管課(観光課)	地域振興特別予算が平成26年度までの限定的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直す必要がある。
地域政策課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。

財務部査定の考え方	地域振興計画どおりとする
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62199	ふるさと体験事業 (グリーン・ツーリズム推進)	担当課	朝日支所 基盤産業課		内線	3632
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	2 観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	1 観光振興費		D	その他事業		
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズム(自然に親しむ旅行)に加え 温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム(健康に良い旅行)、 自分だけの製品をつくるクラフトツーリズム(モノづくりの旅行)など、地元の 産業と一体となった新たな旅行スタイルを生みだします。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	受益者数	不特定多数
	どういう状態にしたいのか(意図)	・都市住民との心の交流をととしてグリーン・ツーリズム活動、地元産業の潤いと高齢者・女性等の生きがいづくりを推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業に向けた調査・研究・実施		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	・地域内外への啓蒙活動		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 体験イベント回数	回	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
算出根拠等	体験イベント回数		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 体験イベント参加者	人	人	目標値	150	300	500	600
			実績値	122	330	450	550
算出根拠等	イベント開催時の入込数		達成率(%)	81	110	90	-
②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
算出根拠等			達成率(%)				-
事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)(A)				815	800	800	800
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源				815	800	800	800
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり(円)(A/B)	(A/B)	目標値	6,680	2,424	1,778	1,455
			実績値	122	330	450	550
算出根拠等			達成率(%)				-

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・土地の特色を生かした体験イベントを行う事により、産業の振興と体験講師の育成等地域活性化が図れる。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・集客の手段として、期待されている。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・体験講師(高齢者・女性)の生きがいづくりとして、育成に努めている。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	・各事業とも集客が増えている。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・集客力は伸びてきている。更にリピーターの確保する事が有効となる。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・体験型交流事業の主導的活動組織として活動している。 ・今後とも地元への啓蒙活動により、協力者を増やす必要がある。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・限られた補助金により行っているが、集客数の増により経費がかさむ傾向にある。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・誘客1人あたり1,000円以内までコストを下げる	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・投入コストに見合った成果が上がっている。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		14.0 / 20.0	100点換算		70 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・PR方法を増やし、内容を検討しながら中身の充実したイベントとする。				

総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
	・地域主体の事業とすべく、補助金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	800	800	0	800	800
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	800	800	0	800	800

予算要求の概要	朝日地域の豊かな自然を活用した体験・交流イベントの開催に対する助成
要求額増減理由	
①支所	・地域住民の高齢化による後継者の育成 ・地域内外への紹介(インターネットの活用:ブログ等)
②本庁所管課(観光課)	
事業実施の課題	持続可能な事業となるよう運営主体の強化を図る必要がある。
地域政策課	
合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95199	スズランカップJrクロスカントリー大会開催事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育総務費		D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技選手	受益者数	
	どういう状態にしたいのか(意図)	・県内唯一のジュニア対象のクロスカントリー大会を開催し競技力向上と青少年の健全育成を目指す		
概要	事業の実施手法(手段)	期 日 平成24年2月第2日曜日 会 場 鈴蘭高原クロスカントリーコース 部 門 小学生・中学生・高校生の部(男女)	内 容	クロスカントリースキー(フリー)
	前回の評価からの改善・改革のポイント	・ジュニアの競技人口を増やすための、PR活動		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	スズランカップクロスカントリースキー大会の実施		回	目標値	1	1	1	1
算出根拠等		参加者数	実績値	1	1	1	1		
算出根拠等		達成率(%)		100	100	100	-		
算出根拠等		達成率(%)							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	スズランカップクロスカントリースキー大会の実施		人	目標値	45	50	55	60
		算出根拠等		参加者数	実績値	41	61	65	-
	算出根拠等		達成率(%)		91	122	118	-	
算出根拠等		達成率(%)							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)		(A)	500	500	500	500		
	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
コスト指標	指 標 名		単 位	目 標・実 績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件当たり(円)		(A/B)	500,000	500,000	500,000	500,000	
		受益者		(B)	1	1	1	1	
	算出根拠等		実施団体はボランティアによる任意団である						

3 分析・評価(Check)

必要性	評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
		A(2)	B(1)		
①	事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・スポーツ振興を進めていく上で、地域の特色を活かしたスポーツはインターハイ、全中大会等の大会における成績でも重要な位置を占め、ジュニア選手の育成のための重要性は高い
		B(1)	一部結びつく		
		C(0)	結びつかない		
②	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	県内で開催される小学生から高校生までの大会は、当大会のみであり、関係者からのニーズは高い
		B(1)	ある程度のニーズがある		
		C(0)	少ない、減少している		
③	事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	競技の特質上参加者が特定される
		B(1)	概ね市民全体におよぶ		
		C(0)	わずかな受益者に限定される		
④	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・県内唯一のジュニア対象の大会として、市内のジュニア選手が、一同に集い日頃の練習の成果を確認しうることにより、個々が次の目標を得ることができ、成果目標を達成している
		B(1)	概ね達成している (75%以上)		
		C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・県内唯一のジュニア対象の大会として、市内のみならず、県内、県外の選手の活躍の場となっている
		B(1)	概ね有効である		
		C(0)	見直しが必要である		
⑥	事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・ジュニア選手数が減少しつつあり、多くの子供に興味をもってもらえるよう、参加募集の方法、成績の公表をできるだけ多くのメディアに提供している
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
		C(0)	対応していない		
⑦	コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	・同時期に当地で開催される大会との経費分担によりコスト縮小に取り組んでいる
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
		C(0)	対応していない		
⑧	受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	・参加者の数に関わりなく、固定経費の変動はなく、事業の性格から判断して適正である
		B(1)	概ね適正である		
		C(0)	改善が必要である		
⑨	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・投入コストに見合った成果が上がっている ・ボランティアの任意団体に運営を委託しているが、施設、備品の準備、報道への情報提供などは市が行うべきである。
		B(2)	概ね適正である		
		C(0)	改善が必要である		
合計		16.0 / 20.0		100点換算 → 80 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・市内のクロスカントリースキー選手層の厚みを増すためには必要な大会であり今後も引き続き実施する								

総合評価(二次評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・スポーツ大会開催誘致のあり方についての検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。								

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	500	500	0	500	500
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	500	500	0	500	500

予算要求の概要	クロスカントリー大会開催負担金
要求額増減理由	
①支所	競技人口が減少の傾向にあり、参加人数がそれに伴い減少している。今後当大会をより一層選手にとって魅力的な大会となるよう、ポイント取得対象競技会に昇格する必要がある。
②本庁所管課(スポーツ振興課)	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	担当課	朝日支所地域振興課	内線	3621
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3 民生費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 老人福祉費		D	その他事業	
市長の約束	5	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	受益者数	9,796 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために助成し、老人クラブを通じて各種活動の育成、支援を行う。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	老人クラブに加入しやすい体制の構築に向け、組織や活動の見直しを促しており、役員会等で検討中である。		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 会員数	算出根拠等	実績値/目標値	人	目標値	11,474	10,500	11,100	11,600
				実績値	11,474	10,405	9,796	-	
				達成率(%)	100	99	88	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	② 単位老人クラブ数	算出根拠等	実績値/目標値	人	目標値	159	150	150	143
					実績値	159	150	143	-
				達成率(%)	100	100	95	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 加入率	算出根拠等	実績値/目標値	%	目標値	46.8	42.0	43.0	44.0
					実績値	46.7	41.7	39.3	-
				達成率(%)	100	99	91	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	算出根拠等	実績値/目標値	(A/B)	618	633	637	637	
					680	663	659	659	
				達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画・市長公約に位置付けられ、高齢者を中心に地域住民が互いに支えあう仕組みとして、老人クラブの活動は、地域福祉体制づくりの一つであり、有意義な政策である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	高齢者の方が健康でいきいきとした生活を送るために老人クラブ活動は重要な施策であり、老人クラブからの補助金の増額について、強い要望もある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	健康で活躍する高齢者が増加することにより、地域の活性化につながる。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	近年の老人クラブ加入者の減少は、高齢者の趣味や考えの多様化したことによるものである。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	高齢者が主体となって健康づくりや地域交流などの自主的な運営を支援している。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	役員会等により、組織や活動の見直しに取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	<ul style="list-style-type: none"> 本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら、事業継続し、活動の育成と支援を行う。 地域振興特別予算(31399事業)の老人クラブ活動費補助金の一本化を図る。 				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	<p>・平成22年度事業評価において、老人クラブ(連合長寿会)の加入率は低下していることから、長寿会に加入しやすい体制の構築を促すなどの取組みが必要であるとの指摘をしているところであるが、連合長寿会に加盟しない地区もあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、地域としての必要性も含め、今後のあり方についても検討する必要がある。</p>				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	420	420	0	420	420
国庫支出金					
県支出金	280	280	0	280	280
起債					
その他					
地域振興特別予算	140	140	0	140	140

予算要求の概要	長寿会事務局設置に係る助成経費
要求額増減理由	
①支所	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
②本庁所管課(老年介護課)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
地域政策課	
支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72199	市道登記用地測量事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3641
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 道路橋りょう総務費		D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)		受益者数	
	どういう状態にしたいのか(意図)	未登記路線の整備		
概要	事業の実施手法(手段)	市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 所有権移転登記筆数		筆	目標値	23	0	0
			実績値	23	0	0	-
算出根拠等		登記室数/年	達成率(%)	100			-
②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
			目標値				
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
① 調査延長	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		m	目標値	50	1,200	560	1,000
			実績値	50	0	0	-
算出根拠等	調査延長/年	達成率(%)	100			-	
②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
			目標値				
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)(A)				4,951	2,297	5,000	5,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源				4,951	2,297	5,000	5,000
①	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
	受益者1件当たり(円)(A/B)	215,261	#DIV/0!	1,000,000	#DIV/0!		
	受益者 登記筆数 (B)	23	0	5			
②	算出根拠等 なし						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	C	・未登記路線の登記をおこなうものであり、総合計画、市長公約に位置付けられていない。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	・所有者個人の権利主張によるトラブルを防ぐために所有権登記処理が必要だが、市民ニーズは高い。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	・所有者個人の権利主張によるトラブルを防ぐために所有権登記処理が必要だが、市民に及ぶ効果は高い。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	C	・年度ごとの目標登記筆数はクリアしている。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	C	・各支所担当者では事業に専念できず進捗率が伸びない。専門課を設立し重点的に事業を進める必要がある。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	C	・所有者が地元にはない場合、亡くなられている場合等の事項が発生した場合、短時間では登記できない。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	・単価契約を本庁担当課でおこなっているため。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	評価対象外	・受益者がいないため。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	標準単価積算であるため概ね適正である。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計		5.0 / 16.0	100点換算 → 31 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	完了
	未登記の解消を遂行していくが、市全体の調整が必要であり、地域振興特別予算ではなく一般予算で対応すべきである。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	○	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・H26までに重要路線の未登記処理を解消できるよう取り組んでいく必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	5,000	5,000	0	5,000	5,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	5,000	5,000	0	5,000	5,000

予算要求の概要	・市道未登記用地の調査、測量、登記に要する費用
要求額増減理由	
①支所	・境界確認、相続等の課題があり、処理に時間を要する
②本庁所管課(維持課)	市道未登記路線の処理については、年次計画に基づき積極的に業務委託を発注し未登記路線の解消に努める必要がある
地域政策課	
	地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 社会教育総務費		D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町)	受益者数	1,890 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・花いっぱい運動に参加する町内会、地域社会教育団体などを広く募集し、希望する団体などに花苗を配布し、朝日町内の景観保全を図る。 ・花壇作りを通して地域の子どもから高齢者まで一体となったコミュニケーションの場とする。		
概要	事業の実施手法(手段)	・マリーゴールド(黄)25TR ・マリーゴールド(橙)20TR ・日々草 4TR ・サルビア35TR ・ケイトウ40TR ・チューリップ球根(赤2,100個 黄2,100個) ・上記、花苗を希望する団体などへの配布。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 参加団体	算出根拠等	指 標 名	単 位	目 標・実 績	H21	H22	H23見込	H24計画
						23	21	21	21
成果面	① 参加団体	配布実績より	達成率(%)	100	100	119	-	算出根拠等	
								達成率(%)	-
成果指標	②	算出根拠等	達成率(%)	-	-	-	-	算出根拠等	
								達成率(%)	-
コスト面	① 参加団体	配布実績より	達成率(%)	100	100	119	-	算出根拠等	
								達成率(%)	-
コスト面	②	算出根拠等	達成率(%)	-	-	-	-	算出根拠等	
								達成率(%)	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)				616	601	680	680	
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
コスト面	一般財源				616	601	680	680	
	指 標 名				H21	H22	H23見込	H24計画	
コスト面	①	受益者1件当たり(円)(A/B)	(A/B)	326	318	360	360	算出根拠等	
								受益者	市民(朝日町)(B)
コスト面	②	参加団体1団体当たり(円)	(円)	26,783	28,619	27,200	32,381	算出根拠等	
								事業費/参加団体	

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・花いっぱい運動推進事業は総合計画、市長公約には明確な位置付けはないが、総合計画では、四季の花々で彩られた親しみのある地域個性の創出を目指しているため、その一環として重要な事業である。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・当該事業は、合併以前から実施しており数十年以上の実績があり、また参加団体は花壇作りコンテストなどにも積極的に応募しており、依然としてある程度のニーズがある。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・事業効果は地域住民に限定されるが、町内会や社会教育団体などの活動の一環となっており、各団体の一体感の醸成にも役立っている。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・参加団体は、事業計画を上回る状況で推移しており、成果指標の目標を十分に達成している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・参加団体の掘り起こしを随時実施しており、地域ぐるみの活動となるよう心掛けている。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	・特に課題はないと考えている。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・花苗の種類や、本数など効果的な活動となるよう改善に取り組んでいる。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・四季の花々で彩られた親しみのある地域個性の創出を目指す一環として、参加団体1団体当たりのコストは適正であると考えている。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・投入コストに見合った成果が上がっていると考えている。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		11.0 / 20.0	100点換算		55 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・内容の見直しを図りながら、より一層充実した活動を実施する。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・「花いっぱい運動」に対しては、当該地域振興予算のほか、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)が直接・間接に助成されており、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方を再検討するとともに、事業費規模などについても検討する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	680	680	0	680	680
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	680	680	0	680	680

予算要求の概要	花苗・球根の購入にかかる経費
要求額増減理由	
①支所	
参加団体の減少	
②本庁所管課(市民活動推進課)	
地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されており、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。	
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94699	ひだ朝日伝統文化祭助成事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6 文化振興費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます 心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにも繋がる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・伝統芸能、伝統工芸の貴重な地域文化を後世に残すとともに広域的なイベント開催により地域文化への理解と連帯感の醸成を図る。 ・観光資源の活用による地域間交流を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・「ひだ朝日伝統文化祭」を毎年、秋季に開催する。 ・H23年度 10月16日(日)に開催予定 事業実施主体 朝日地区社会教育推進協議会		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 参加者(来場者)	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	100	100	100	-
			達成率(%)	100	100	100	-
②	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)	-	-	-	-
			達成率(%)	-	-	-	-
① 来場者	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	100	100	100	-
			達成率(%)	100	100	100	-
②	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)	-	-	-	-
			達成率(%)	-	-	-	-

コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 来場者	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	100	100	100	-
			達成率(%)	100	100	100	-
②	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)	-	-	-	-
			達成率(%)	-	-	-	-

コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
財源内訳	歳出(千円)(A)	880	800	800	800
	受益者負担(使用料・負担金等)				
コスト指標	受益者負担(使用料・負担金等)				
	一般財源	800	800	800	800
①	受益者1人当たり(円)(A/B)	10	9	9	9
	受益者 市民(4月1日現在)(B)	93,312	93,312	93,312	93,300
②	来場者1人当たり(円)	1,760	1,600	1,600	1,600
	算出根拠等	事業費/来場者数			

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・地域文化振興事業は、いずれも総合計画、市長公約に位置付けられ、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上でも重要である。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・例年、「ひだ朝日伝統文化祭」は盛況に開催されており、地域等の芸術文化に触れる貴重な場と考えている。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・地域文化振興事業として実施しているが、開催パンフレットは○○地域や○○地域にも配布しており、また各種情報媒体を活用し、市域全体に周知している。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・来場者数は、事業計画どおり推移しており、成果指標の目標を十分に達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・地域に存在するさまざまな芸術文化活動団体への呼びかけを行い、毎年目新しい発信を行うと共に、市内外を問わず多方面にも出場等を依頼し、有効的な地域間交流を行っている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・来場者及び出場団体などへの聞き取りを実施し、常に効果的な情報発信を心掛けている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・毎年、実施後に関係者による意見交換を行い、常に効果的・効率的な開催を目指している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・地域での芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上で、受益者1人当たりのコストは適正であると考えている。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・投入コストに見合った成果が上がっていると考えている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		11.0 / 20.0	100点換算 → 55 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・内容の見直しを図りながら、より一層充実した開催を実施する。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・全市的なバランスのなかから、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方の再検討や事業費規模などについて、検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	800	800	0	600	600
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	800	800	0	600	600

予算要求の概要	伝統文化祭の開催に対する助成
要求額増減理由	
①支所	地域の文化伝承
②本庁所管課(生涯学習課)	地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	地域振興計画どおりとする
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94699	地域文化振興事業費	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6 文化振興費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます 生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにも繋がる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町)	受益者数	1,890 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・優れた芸術文化に接する機会を創出し、市民に心豊かな生活を営む場を提供し、魅力ある地域づくりを創造すると共に、地域の文化団体における自主事業開催のための基礎づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	・「文化講演会」を毎年、秋季に開催する。 ・H23年度 11月14日(月)に開催予定 事業実施主体 朝日地区社会教育推進協議会		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 参加者(来場者)	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	127	147	100	-
			達成率(%)	127	147	100	-
②	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	127	147	100	-
			達成率(%)	127	147	100	-
① 来場者	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	127	147	100	-
			達成率(%)	127	147	100	-
②	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	127	147	100	-
			達成率(%)	127	147	100	-

コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 来場者	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	127	147	100	-
			達成率(%)	127	147	100	-
②	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	127	147	100	-
			達成率(%)	127	147	100	-

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
	歳出(千円)	(A) 2,148	2,000	2,000	1,500
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源	1,948	2,000	2,000	1,500
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	1,890	1,890
②	来場者1人当たり(円)	5,653	4,545	6,667	4,500
	算出根拠等	事業費/来場者数			

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・地域文化振興事業は、いずれも総合計画、市長公約に位置付けられ、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上でも重要である。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・例年、「文化講演会」は盛況に開催されており、優れた芸術文化に触れる貴重な場と考えている。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	朝日地区社教が主催するため、受益者が限定される。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・来場者数は、事業計画を上回る状況で推移しており、成果指標の目標を十分に達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・優れた芸術文化に触れる機会を創出するため、関係機関との連携深め有効な活動となるよう努めている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・来場者などへの聞き取りを実施し、常に効果的な情報発信を心掛けている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・毎年、実施後に関係者による意見交換を行い、常に効果的・効率的な開催を目指している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1人当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・地域での芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上で、受益者1人当たりのコストは適正であると考えている。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・投入コストに見合った成果が上がっていると考えている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		10.0 / 20.0	100点換算 → 50 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・内容の見直しを図りながら、より一層充実した開催を実施する。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・全市的なバランスのなかから、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方の再検討や事業費規模などについて、検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	2,000	1,500	△ 500	1,500	1,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	2,000	1,500	△ 500	1,500	1,500

予算要求の概要	文化講演会の開催に対する助成
要求額増減理由	事業内容の見直し
①支所	各地域で同様の事業が実施されているため、地域間の調整が必要である。
②本庁所管課(生涯学習課)	地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94799	市指定文化財保存事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3621
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7 文化財費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用する。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	天然記念物、有形文化財、有形民俗文化財は貴重な財産であり、後世に伝える大切な責務を持っている。看板を設置し意識啓蒙を図りその重要性を高める。		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財石柱設置 ・説明看板設置 ・乗鞍登山道石仏祠設置 		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 石柱設置数		個	目標値	6	5	5	5
			実績値	6	5		
算出根拠等			達成率(%)	100	100	#VALUE!	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 石柱設置数			目標値	100	100	5	5
			実績値	100	100		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)(A)				845	850	1,000	1,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	
	一般財源			845	850	1,000	
コスト面	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
							① 受益者1件当たり(円)(A/B)
	② 受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,300		
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	指定文化財石柱設置、説明看板設置については、市長公約に位置づけられ、歴史的、社会的に価値のある有形無形の伝統文化や文化財など資源を保存活用するために欠かせない。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	看板等設置することで、市民に対して意識啓蒙を図り重要性を高める。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	伝統文化や文化財は貴重な財産であり、看板等設置することにより意識啓蒙を図り重要性を高める効果がある。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	石柱設置については、当初計画どおり設置しており、目標値をおおむね達成している。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	看板等は限られたスペースの中で、市民に分かりやすく情報を提供する必要がある。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	A	今後とも分かりやすく情報を提供する必要がある。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	A	石柱設置については当初は各部署単位で入れしていたが、市で一括入札を行い経費節減に努めているが、石材等の高騰により単価が増加傾向にある。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	投入コストに見合った成果が上がっている。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	投入コストに見合った成果が上がっている。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	20.0 / 20.0	100点換算	100 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	今後も歴史的、社会的に価値がある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成26年度までに完了できるよう事業を継続する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	1,000	1,770	770	1,750	1,750
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,000	1,770	770	1,750	1,750

予算要求の概要	文化財標柱設置にかかる経費 乗鞍登山道石仏の保護にかかる経費
要求額増減理由	乗鞍登山道石仏祠設置工事費の増
①支所	文化財標柱設置等は文化財保存において重要であり、計画的に設置する必要がある。
②本庁所管課(文化財課)	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓蒙の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。
地域政策課	計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に設置完了することが必要である。

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95199	スポーツフェスタ助成事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育総務費		D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内市民対象	受益者数	1,890 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・余暇の時間増大により物質的充足感より心の豊かさなど精神的な充足感が強く求められるようになり、日常生活に定着した活動により参加しやすい軽スポーツの大会を開催することにより地域の活性化につなげたい		
概要	事業の実施手法(手段)	期日 10月上旬 会場 こだま館、マレットゴルフ場 対象者 朝日支所地域内の小学生から高齢者まで 内容 グランドゴルフ、ダーツ、ペタンク、輪投げ、キックボウリング、ストラックアウト、ウォークラリー等		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	・参加人数の増加、多様化のため種目の見直しを行う		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	スポーツフェスタの開催	回	指標名				
				目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
活動指標	算出根拠等	一年一回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	1	
活動指標	算出根拠等	参加者数	達成率(%)	100	100	100	-	
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	②		目標値					
			実績値					
成果面	算出根拠等		達成率(%)					
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	①	スポーツフェスタの開催	人	目標値	150	150	150	150
				実績値	116	100	150	-
成果指標	算出根拠等	参加者数	達成率(%)	77	67	100	-	
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	②		目標値					
			実績値					
成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
			事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
コスト面	歳出(千円)	(A)	150	150	150	150		
			受益者負担(使用料・負担金等)					
コスト面	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	一般財源	150	150	150	150		
			指標名	H21	H22	H23見込	H24計画	
コスト指標	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,293	1,500	1,000	1,000	
				受益者	150	100	150	150
コスト指標	算出根拠等	決算額/参加者数						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・軽スポーツを通じて子供から高齢者までがふれあう事が出来る数少ない行事であるため地域の絆を高めるための重要性は高い
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	C	・市民の生活形態、趣向性が多様化している中で、子供や若者の参加が少なくなりつつある ・無くて支障のない事業である
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	朝日町地域内の市民を対象としている事業である
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	C	・高齢者以外の成人市民や子供の休日の過ごし方にマッチしていない行事であり、参加者が高齢者に偏り成果指標の達成は順調ではない
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	C	・事業の必要性を見直す必要がある
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・地域内の中学、小学校、スポーツ少年団への参加の呼びかけを行っている
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	・不足する用具を他地域との連携により融通しあい、コスト削減に努めている
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・参加者を多く募るための競技種目の多様化に対応するための用具の調達が必要であるため、概ね適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・小中学生の参加が比較的多いため現状では概ね適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		7.0 / 20.0	100点換算 → 35 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	150	150	0	150	150
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	150	150	0	150	150

予算要求の概要	地域スポーツ大会の開催に対する助成
要求額増減理由	
①支所	・事業実施体が地区社教であるため市民全体を参加者とするのが困難である ・参加者が子供、高齢者が大半で、ファミリー、一般参加が極めて少ない
②本庁所管課(スポーツ振興課)	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域おこし協力員活動事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3611
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		D	その他事業	
市長の約束	2	観光まちづくり持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日支所地域全住民	受益者数	1,890 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	山村地域の活性化に意欲のある都市住民(若者)を「地域おこし協力員」として委嘱し、地域で活動する団体等と協同して地域おこし活動に従事するとともに、外部からの視点を活かした地域資源の活用や地域振興策を提案・実施することで地域の活性化を図り、地域力の維持・強化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	都市部の視点を活かすことを基本として、主に次の地域活動を地域の核となる団体と協同して取り組む。 ・地域資源の調査、整理 ・地元農産物の新しい活用法の提案と販売促進活動 ・地元住民の知恵、技を活かした商品開発 ・グリーンツーリズムの振興		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	地域おこし協力員の人数	人	目標値			1	1
			実績値			1	1
算出根拠等			達成率(%)		100	100	-
②	朝日町情報誌「あさひの絆」月1回発行	回	目標値		5	12	12
			実績値		3	12	
算出根拠等			1回発行/月×12月	達成率(%)	60	100	-
①	グリーン・ツーリズム開催回数	回	目標値		20	25	
			実績値		22	25	-
算出根拠等			開催回数	達成率(%)	110	100	-
②			目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			0	1,533	3,080	3,500
	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	0
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	0
コスト面	一般財源			0	1,533	3,080	3,500
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)	H21		805	1,630	1,768
			H22		1,904	1,890	1,980
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			C(0)
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・地元NPO法人と協働し、外部からの視点を活かして新たな観光資源を発掘・活用する活動を行っている。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・観光客の減少に伴い旅館・民宿での宿泊客が減少している傾向から、誘客に津ながら事業として期待度は非常に高い。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・情報誌の発行が朝日支所地域内に限られているが、情報発信を行うことで概ね市民全体におよぶことになる。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・年間を通じて活動しており、地域住民との交流を深めると同時に、情報誌の定期的発行により活動報告がなされている。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・地元NPO法人と協働して活動すると同時に、地域住民と積極的に交流を行い、情報収集や活動を行っており有効である。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	・任意の実行委員会からNPO法人の設立により、活動母体の明確化など改善・工夫に取り組んでいる。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・限られた予算で、改善・工夫して活動に取り組んでおり、コストは概ね適正である。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・限られた予算で、工夫して活動に取り組んでおり、コストは概ね適正である。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・安価な人件費と必要最低限の需用費のため、コストは適正である。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		17.0 / 20.0	100点換算		85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・NPO法人「元気な里ひだあさひ」を設立し、グリーン・ツーリズムの活動母体が確立されたが、地域の活動を図る人材が不足しているため、引き続き活動員の活動を維持していく必要がある。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	設置年度終了後の地域のあり方の検討が必要。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	3,080	2,929	△ 151	2,880	2,880
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	3,080	2,929	△ 151	2,880	2,880

予算要求の概要	地域おこし協力員の活動にかかる経費
要求額増減理由	活動経費の見直しによる
①支所	24年度をもって地域おこし協力員事業が終了となるため、これに代わる事業により引き続き地域力の強化を進める必要がある。
②本庁所管課(地域政策課)	事業最終年度のため、これまでの成果の取りまとめ及び検証と、成果の次年度以降の取り組みにつなげることが必要である。
地域政策課	

財務部査定 の考え方	他支所地域おこし協力員と統一
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	朝日地域再発見事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		O	D その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内外の人	受益者数
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域力向上のため、地域の魅力の再発見及び、地域資源の発掘を行う。	
概要	事業の実施手法(手段)	・新たな特産品開発(四国びえの商品・猪肉加工・食感優しい餅を、地域おこし協力員との協働を得ながらフードコーディネーターを招き、研修・研究を通して商品の創作を図る。) ・既存施設や当地区ならではの氷を基調した魅力ある体験メニュー、四季の花々などを紹介した資料を作成。	
前回の評価からの改善・改革のポイント	・特産品の開発・宣伝、パンフレットの作成		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	実績値		
算出根拠等	達成率(%)							-
	算出根拠等							
②	目標値							
	実績値							-
算出根拠等	達成率(%)							-
	算出根拠等							
①	メニューの数	個	目標値			10	10	
			実績値			14	10	-
算出根拠等	達成率(%)					140	100	-
	算出根拠等							
②	商品化数	ヶ	目標値			1	5	
			実績値			4	5	-
算出根拠等	達成率(%)					400	100	-
	算出根拠等							

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)	(A)		982	1,000	1,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
一般財源		982	1,000	1,000		
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	受益者	(B)				
②	算出根拠等					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・特産品を開発と独自のパンフレットを作成する事により、多くの人々に地域の魅力を知ってもらう戦略的な誘客宣伝が出来る。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・猪肉の供給と販売には、住民の期待が高い。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・原料の安定的な確保が可能になる事により、安価に供給できる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・成果指数の目標値を概ね達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・それぞれの材料の特性を生かしながら、特産品を開発する事は、地域おこしの上有効である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・猪肉加工品を製造する業者が地元でない為、地元の肉が使えない。使えるよう検討する必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・猪肉が割高になる傾向にある
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	・まだ創出中の為
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	・まだ創出中の為
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		11.0 / 14.0	100点換算 → 79 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・新メニューの創出と販売 ・地域の素材編集、構成を行い資料を作成する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・成果の有効活用について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,000	1,000	0	1,000	1,000

予算要求の概要	特産品開発及びPRIにかかる経費
要求額増減理由	

①支所	かわらべ・うち米餅の商品化に伴い、健康食品としての効能やおいしく食べていただく為の説明書の工夫が必要。
②本庁所管課(地域政策課)	事業最終年度のため成果を検証したうえで、次年度以降も成果が生かされるためのしくみづくりが必要である。
地域政策課	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	秋神まつり事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3621
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内外の人	受益者数	不特定多数
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	グリーン・ツーリズムの推進し、都市住民との心の交流を目的に、新たな体験メニューの一つとして、わらび粉づくりを復活をす事により、体験講師(高齢者・女性等)の生きがいづくりをする。また地域の特産品加工、伝統文化の伝承を通じて秋神地域の高齢者の活動の場を作ることに地域活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	平成22~23年度 未利用の既存の水車小屋を体験施設として活用するため、水車が稼働できる場所に移築する。 平成24年度 旧秋神小学校をグリーン・ツーリズム事業で利用しやすいように、修繕を行う。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	平成23年度 ・水車小屋の移築 平成24年度 ・旧秋神小学校の修繕等		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
					目標値	実績値			
成果面	算出根拠等	達成率(%)							-
		算出根拠等							-
成果指標	②	目標・実績							
		目標値							
成果指標	算出根拠等	達成率(%)							-
		算出根拠等							-
コスト面	①	体験イベント	人	目標値	100	150	200	300	
		実績値	60	120	180	-			
コスト面	算出根拠等	達成率(%)							60
		算出根拠等							80
コスト面	②	目標・実績							
		目標値							
コスト面	算出根拠等	達成率(%)							-
		算出根拠等							-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)				(A)		3,300	6,000	500
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
コスト面	一般財源					3,300	6,000	500	
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画	
コスト面	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)		27,500	33,333	2,083		
		受益者	体験イベント	(B)	60	120	180	240	
コスト面	算出根拠等	達成率(%)							-
		算出根拠等							-

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	「にぎわい」のある町をめざして、地域の特色を生かした水車を活用し、わらび粉を新たな観光資源とする。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・地場産業の少ない中、昔ながらの産業への期待は大きい。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・新たな観光資源としてPRできる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	C	・集客数が増えている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・廃校小学校とのコラボにより、都市住民との交流の可能性が多い
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・体験型交流事業の主導的活動組織として活動している。 ・今後とも地元への啓蒙活動により、協力者を増やす必要がある。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・体験に必要な部屋を限定し使用している ・受電契約の変更が必要になる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	・受益者が不特定多数な為
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・投入コストに見合った成果が上がっている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		11.0 / 18.0	100点換算	61 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・地域の体験型交流施設として推進する。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・今後の方向性を明確にする必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	6,000	500	△ 5,500	0	0
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	6,000	500	△ 5,500	0	0

予算要求の概要	旧秋神小学校の活用に向けた施設修繕費
要求額増減理由	施設整備の完了に伴う減
①支所	交流人口の増加を図る事業を実施するには、事業内容に適した施設面の整備が必要である。
②本庁所管課(地域政策課)	秋神地域の活性化を進める中で、旧秋神小学校の位置づけ・役割・目標を明確にしたうえで、地域団体等とも協働した事業展開を図ることが必要である。
地域政策課	

財務部査定 の考え方	今後の施設のあり方、利活用方針が未定であるため見送り
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	51399	生活環境保全対策事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3631
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	5 農業水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 農業費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 農業振興費		D	その他事業	
市長の約束	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防御事業を強化し、併せて駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に取り組みます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の当該事業に参加している11町内会	受益者数	377人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	有害鳥獣による被害を防止するため、集落の周囲に進入防止柵を設置し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	有害鳥獣進入防止柵等を設置するための資材費購入に対する助成		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	町内会等の事業実施主体に対して、本年度当初に補助予定額を通知し、事業の早期完了を促した		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	算出根拠等		目標値				
			実績値				
②	算出根拠等		達成率(%)				-
			目標値				
①	有害鳥獣進入防止柵設置延長	m	目標値		1,677	5,878	5,600
			実績値		1,677	5,654	-
②	算出根拠等		達成率(%)		100	96	-
			目標値				
①	算出根拠等		実績値				-
			達成率(%)				-

コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値		26,768	29,070	40,161
			実績値		112	344	249
②	補助金(防止柵資材費)1m当り(円)		目標値		1,788	1,769	1,818
			実績値				
算出根拠等	有害鳥獣進入防止柵資材費(補助金80%分)						

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
財源内訳	歳出(千円)	(A)	2,998	10,000	10,000
	受益者負担(使用料・負担金等)				
コスト面	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源		2,998	10,000	10,000

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)	C(0)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		A	有害鳥獣対策における防御事業の強化は、市長公約に位置付けられ、緊急の課題となっている。	
	B(1)	一部結びつく				
	C(0)	結びつかない				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	猪等の有害鳥獣による農作物等の被害は年々増加傾向にあり、市民ニーズは急増している。	
	B(1)	ある程度のニーズがある				
	C(0)	少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		B	当該事業で設置する有害鳥獣進入防止柵は、集落を取り囲むことが主な目的である。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ				
	C(0)	わずかな受益者に限定される				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		B	当該事業における年次計画に基づき実施している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)				
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		B	現在設置している有害鳥獣進入防止柵は、主に猪を対象としている。今後は、ニホンジカ・ニホンザルの進入を防止するための資材を検討する必要がある。	
	B(1)	概ね有効である				
	C(0)	見直しが必要である				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	連合町内会等を通じ、事業実施に向けた要望を広く周知し、把握している。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
	C(0)	対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		A	有害鳥獣進入防止柵に使用する資材については、品質・性能・耐久性等を精査し、より効果のあるものを選定するよう、町内会等の事業実施主体に周知している。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
	C(0)	対応していない				
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	事業の目的や性格から、受益者1件当たりのコストは適正であると判断できる。	
	B(1)	概ね適正である				
	C(0)	改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		B	コストに見合った成果が上がっている一方、ニホンジカ・ニホンザルの進入を防止するための資材を追加検討する必要がある。	
	B(2)	概ね適正である				
	C(0)	改善が必要である				
合計				14.0 / 20.0	100点換算	70 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	連合町内会等を通じ事業実施に向けた要望を広く把握し、併せて、事業に消極的な町内会等に対し積極的に働きかける。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・一般予算によるバランスに配慮し実施する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	10,000	10,000	0	10,000	10,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	10,000	10,000	0	10,000	10,000

予算要求の概要	有害鳥獣進入防止柵等の設置に対する助成
要求額増減理由	

①支所	進入防止柵の内側(集落内)に設置しているイノシシ捕獲檻を進入防止柵の外側に移設し、イノシシの捕獲を強化するなど、猟友会との連携を強化する必要がある。
②本庁所管課(農務課)	国庫事業「鳥獣被害防止総合対策事業」においての実施も検討する必要がある。
地域政策課	
鳥獣害は全市民的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	61199	道の駅周辺整備事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 商工費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 商工振興費		D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光入込客及び市民	受益者数	8,000 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	地域活性化の拠点施設としての利用		
概要	事業の実施手法(手段)	進入路・排水路・すずらん畑の整備		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 集客数	算出根拠等	道の駅来客数	人	目標値			
				実績値				-
				達成率(%)				-
②	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等			目標値				-
				実績値				-
① 交流人口	算出根拠等	道の駅来客数	千人	目標値				8,000
				実績値				-
				達成率(%)				-
②	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等			目標値				-
				実績値				-
	算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)							5,000
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)						625
	②	受益者 各前年イベント入込数(B)						8,000
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	地域活性化の拠点施設の利活用の向上
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	地域住民がふれあいを実感し、地域づくり意識の高揚
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	気楽に立ち寄れる公園となる
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		3.0 / 6.0	100点換算 → 50 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	地域活性化の拠点施設としての利活用を図る。				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	0	5,000	5,000	0	0
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	0	5,000	5,000	0	0

予算要求の概要	施設等整備にかかる工事費
要求額増減理由	新規事業のため
①支所	
利用・誘客促進	
②本庁所管課(商工課)	
観光客や地域住民に施設が有効活用されるよう、地域において創意工夫を重ね、活用促進に取り組む必要がある。	
地域政策課	
本事業が道の駅の活性化、誘客増にどのようにつながるか、維持管理を含め費用対効果を十分に検証する必要がある。	

財務部査定の考え方	今後の施設のあり方や利活用方針が未定であるため見送り
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62499	乗鞍・御岳登山道管理事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 観光費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 自然公園費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来訪者(登山者)	受益者数	不特定多数
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	来訪者が安全に自然に親しめるよう、乗鞍及び御岳の登山道の維持管理と環境整備を実施する。		
概要	事業の実施手法(手段)	業務委託により、下層植物について登山道の刈り払い等をおこなう。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	登山ルートを区切り年次計画を立てる。		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 委託業務回数	算出根拠等	年1回	目標値			1	1
			実績値			1	1
算出根拠等			達成率(%)			100	100
②	算出根拠等		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
①	算出根拠等		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
②	算出根拠等		目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
歳出(千円)(A)			198	200	612
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
一般財源			198	200	612
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	受益者(B)				
算出根拠等					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	「すみよき」のあるまちをめざして、環境保全に取り組んでいる。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・登山者からの通行安全に対してのニーズがある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・利用者が限られる為。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	・達成されている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・登山客の安全を確保する為の環境整備は有効である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・地理や植生に精通した者でなければ安全且つ適正に作業が出来ないため
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	C	・初級登山道であるが、経費の節約は難しい
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	・受益者が不特定多数な為
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・投入コストに見合った成果が上がっている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		10.0 / 18.0	100点換算 → 56 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	安全に自然に親しめるよう環境を充実				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・いくつかの地域で登山道整備があるが、今後は有効なもののみを選択していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	200	612	412	600	600
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	200	612	412	600	600

予算要求の概要	・登山道の維持管理
要求額増減理由	・草刈り距離の延長に伴う増
①支所	・登山道の延長が長い為、笹による荒廃箇所の手入れを継続的に実施する事が困難になっている。ボランティア等の協働を検討していく。
②本庁所管課(地域政策課)	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
地域政策課	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	74699	美女ヶ池浄化・美化保全事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3631
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6 公園管理費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来場者	受益者数
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	水生植物や草花を植栽し、池の水の浄化や池周辺の景観美化を図り、合併記念公園にふさわしい美女ヶ池の姿を再生する。	
概要	事業の実施手法(手段)	浄化植物植栽 美化植物植栽	
前回の評価からの改善・改革のポイント	なし		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		① 浄化・美化植物植栽面積	m ²	目標値				71
		実績値				71	-	
		達成率(%)					100	-
成果面	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		②		目標値				
		実績値					-	
		達成率(%)					-	
成果指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		① 利用者数	人	目標値	17,000	15,000	11,000	10,000
		実績値		15,056	11,465	10,000	-	
		達成率(%)		89	76	91	-	
コスト面	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		②		目標値				
		実績値					-	
		達成率(%)					-	
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)				(A)		1,140	1,200
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	一般財源						1,140	1,200
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)				104	120
	②	受益者	来場者	(B)		11,465	11,000	10,000
	算出根拠等	事業費/受益者						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・合併記念公園として位置づけられている美女高原の自然を守り、観光の資源とする。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・美女高原の自然資源を守るための事業であり、市民のニーズは高い。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・来場者が対象であり、綺麗な草花は心を和ませる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	・23年度新規事業である。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	・23年度新規事業である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	・23年度新規事業である。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	・23年度新規事業であるため。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	・コストの妥当なラインが不明である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	・コストの妥当なラインが不明である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		6.0 / 6.0	100点換算	100 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・周辺全体に美化植物を植栽するには、成果を見ながら毎年行う必要がある。 ・浄化植物は池の浄化を図るために植栽するものであり、汚濁が解消するまで行う必要がある。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・事業の継続については、事業効果を精査し実施する必要がある。 ・浄化については、H23年度に実施した浄化植物による効果の検証し、対策を検討する必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	1,200	1,200	0	1,200	1,200
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,200	1,200	0	1,200	1,200

予算要求の概要	植栽工事
要求額増減理由	
①支所	平成23年度に実施した浄化事業の検証等、調査を継続すること。
②本庁所管課(都市整備課)	
事業実施の課題	美女ヶ池への汚泥の流入を抑制する検討が必要
地域政策課	
今までの事業の検証を踏まえ、今後の対応方針を定める必要がある。	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	42299	食用油リサイクル事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3621
予算	会計	1	一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	清掃費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	塵介処理費		D	その他事業	
市長の約束	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など環境改善につながる取り組みを支援します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	・回収(朝日、高根、国府町)・使用(公用車4台)	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	使用済み食用油を、回収、精製処理しリサイクル燃料として使用することにより、市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地球温暖化対策を推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	一般家庭より排出される食用廃油を月1回、拠点集積所において回収する。回収した食用廃油については、処理施設で精製し、支所及び資源RC等の公用車の燃料として活用する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 廃食用油回収量	算出根拠等	L	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	1,677	2,242	2,500	-
			達成率(%)	67	90	100	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
② BDF精製量	算出根拠等	L	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	2,120	2,240	2,500	-
			達成率(%)	85	90	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① BDF使用量(資源RC、国府車含む)	算出根拠等	L	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	2,025	2,203	2,500	-
			達成率(%)	81	88	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	算出根拠等	(A/B)	目標値	1	1	4	2
			実績値	94,235	93,822	93,212	93,200
			達成率(%)				

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21	H22	H23	H24
	歳出(千円)		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
一般財源		115	101	410	213	
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画
			目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	4	2	
		受益者 市民(4月1日現在)	(B)	94,235	93,822	93,212
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	廃食油の分別回収、再資源化は地球温暖化防止対策や環境保全などの一環としての取り組みである。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	今後も市民のリサイクル意識の向上を図る必要がある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	廃食油の分別回収、再資源化は地球温暖化防止対策や環境保全などの一環としての取り組みであるが、精製されたBDF燃料の利用方法と回収範囲の拡大等今後の検討が必要。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	現在公用車4台を使用しており、4台分の廃油確保と精製を行っている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	各家庭からの廃油の回収が減少しており、再度リサイクルへの意識の向上を図る。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	各家庭からの廃油の回収が減少しており、再度リサイクルへの意識の向上を図ることや回収範囲の拡大等検討が必要
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	シルバーへ委託し、需要に応じ精製を行い経費削減を行っている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	需用に応じ精製業務を行っており、必要最小限の支出をしている。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	需用に応じ精製業務を行っており、必要最小限の支出をしている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		16.0 / 20.0	100点換算 → 80 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	BDF対象車両が無くなりつつあり、今後の使用方法等全市的な取り組みへの検討し一般予算で継続する必要がある。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・環境に対する効果を検証する必要がある。なお、コスト面を考慮に入れ、全市的な取り組みの実施について検討する必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	410	213	△ 197	220	220
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	410	213	△ 197	220	220

予算要求の概要	一般家庭より排出される食用油の回収・精製にかかる経費
要求額増減理由	BDF対象車両の減少による
①支所	回収については朝日、高根、国府町で実施しており、回収量が不足している。また、BDF対象車両が無くなりつつあり、回収及び使用方法等検討が必要。
②本庁所管課(生活環境課)	・市が精製したBDFは、公用車でのご使用となるが、岐阜県では不正軽油取締りの観点から軽油への混合は認められておらず、現状では安定した需要が見込めない。 ・精製機械の耐用年数を勘案の上、当該リサイクル事業の継続についての検討が必要。 ・民間による回収ルート、資源化ルートが確立されつつあり、リサイクルという観点から見れば、回収量の増大等について多面的な検討が必要。
地域政策課	
地球温暖化対策は様々な取組みが可能なため、将来性を含め事業を今後も推進すべきかどうかの検証が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	51399	モンキードッグ活動支援事業	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3631
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	5 農業水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 農業費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 農業振興費		D	その他事業	
市長の約束	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防御事業を強化し、併せて駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に取り組みます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の市民	受益者数	592 件
	どういう状態にしたいのか(意図)	モンキードッグ出動を強化し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	モンキードッグの活動に対する助成		
前回の評価からの改善・改革のポイント	月1回日時を定めて、一斉出動を実施する。			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	モンキードッグ出動回数	回	目標値	420	420	420	420
			実績値	383	243	400	
	算出根拠等	10回×6ヶ月×7頭	達成率(%)	91	58	95	-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②			目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
①			目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②			目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額		
歳出(千円)	(A)	240	240	210			
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源		240	240	210			
指標名	H21	H22	H23見込	H24計画			
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	405	405	355		
	受益者	出動対象町内会世帯数(B)	592	592	592		
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	有害鳥獣対策における防御事業の強化は、市長公約に位置付けられ、緊急の課題となっている。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	猿による農作物等の被害は年々増加傾向にあり、生活環境をも脅かされており、市民ニーズは急増している。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	出動対象区域は、朝日地域に限られる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	C	出動回数は少ない傾向にある。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	C	積極的に出動できる環境を整える必要がある。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	モンキードッグのさらなる育成、再訓練が急務である
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	専門の訓練所以外にモンキードッグを育成する方法を検討中である。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	コスト的には問題はない。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	コスト的には問題はない。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計	12.0 / 20.0		100点換算	60 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	モンキードッグをさらに育成し、1町内1頭以上配置する方向で検討する。								

総合評価(二次評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・鳥獣被害は深刻な問題であり、早急な対応が必要だが、モンキードッグの効果が持続するかについて検討する必要がある。 ・効果があるなら拡大についても検討する必要がある。									

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	240	210	△30	210	210
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	240	210	△30	210	210

予算要求の概要	モンキードッグの活動に対する助成
要求額増減理由	モンキードッグが減ったため
①支所	平成22年度以降、モンキードッグの頭数が増えていない。朝日地域全般に活動範囲を広げるため、モンキードッグをさらに育成する必要がある。
②本庁所管課(農務課)	朝日地域ぐるみで被害の状況やサル群把握等を行う中で、地域住民と一体となった効果的、効率的な被害防止が重要である。その一つの方法として「モンキードッグ」も有効な手段である。
地域政策課	
鳥獣被害は全体的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業 (農道分)	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線 3631
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	5 農業水産業費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	4 農業土木費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1 農業土木総務費		D	その他事業
市長の約束					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民および農道通行者	受益者数	不特定多数
	どういった状態にしたいのか(意図)	農道の管理		
概要	事業の実施手法(手段)	広域営農団地農道の交通安全確保のための除草 W=1.0 m		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画			
				目標値	実績値					
①	算出根拠等	2回発行/月×12月	達成率(%)				-			
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
②	算出根拠等		達成率(%)				-			
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
①	除草面積	㎡	目標値	7,100	5,800	5,800	5,800			
			実績値	7,100	5,800	5,800	-			
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-			
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
②			目標値							
			実績値				-			
算出根拠等			達成率(%)				-			
			事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額			
歳出(千円)	(A)		375	378	400	400				
			受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)										
			一般財源	375	378	400	400			
指標名							H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	696	701	742	742				
			受益者	(B)	539	539	539	539		
算出根拠等										

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	田舎暮らしの田園風景を保全できる。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	沿線の景観保全とドライバーの視野拡大
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・不特定多数が利用されるため。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	必要な除草面積を確保しており、交通の安全を図っている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	シルバー人材センターに委託することにより、高齢者の就業機会が図られる。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・年2回の草刈りが理想だが、1回しか実施できない。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	シルバー人材センターに委託することにより、コスト削減が図られる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	・受益者が不特定多数であるため。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	シルバー人材センターに委託することにより、コスト削減が図られる。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		17.0 / 18.0	100点換算	94 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	引き続き除草し、交通の安全を確保する。				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
	・農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求めなければならない。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	400	400	0	400	400
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	400	400	0	400	400

予算要求の概要	県営広域営農団地農道の草刈・除草にかかる経費
要求額増減理由	
①支所	今後は、地元町内会活動における草刈り作業、あるいは、ボランティア活動へ移行の方向で検討する必要がある。
②本庁所管課(農務課)	今後も農畜産物の物流経路及び交通の安全を確保するためにも、事業の継続が必要である。
地域政策課	
樹木花等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全庁的な検討、調整が必要である。	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業 (市道分)	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3631
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 道路橋りょう維持費		D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民および道路通行者	受益者数	不特定多数
	どういった状態にしたいのか(意図)	沿道景観を保持する。(市道) 「さくらロード」「もみじ街道」の景観保持および植樹帯の保護。(国・県道)		
概要	事業の実施手法(手段)	町内沿道の清掃及び草刈り。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	なし		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 沿道草刈り			回	目標値	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
算出根拠等	委託発注1回			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②				目標値			
			実績値				-	
算出根拠等				達成率(%)				-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 草刈り面積			m ²	目標値	60,000	60,000	60,000
			実績値	60,000	60,000	60,000	-	
算出根拠等	延長×2/年			達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)		(A)	937	938	950	1,000	
コスト面	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	493	494	500	526	
受益者		町内総人数	(B)	1,900	1,900	1,900	1,900	
算出根拠等								

3 分析・評価(Check)

必要性	評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など		
		A(2)	B(1)				
①	事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	田舎暮らしの田園風景を保全できる。		
		B(1)	一部結びつく				
		C(0)	結びつかない				
②	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	沿線の景観保全とドライバーの視野拡大		
		B(1)	ある程度のニーズがある				
		C(0)	少ない、減少している				
③	事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・不特定多数が利用されるため。		
		B(1)	概ね市民全体におよぶ				
		C(0)	わずかな受益者に限定される				
④	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・予定箇所(路線)の草刈りはおこなっている。		
		B(1)	概ね達成している (75%以上)				
		C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・年2回の草刈りが理想だが、予算的に達成できていない。		
		B(1)	概ね有効である				
		C(0)	見直しが必要である				
⑥	事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・年2回の草刈りが理想だが、1回しか実施できない。		
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑦	コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	シルバー人材センターに委託することにより、コスト削減が図られる。		
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑧	受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	・受益者が不特定多数であるため。		
		B(1)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
⑨	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	シルバー人材センターに委託することにより、コスト削減が図られる。		
		B(2)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
合計		16.0 / 18.0		100点換算		89 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針 (担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・現在年1回しか実施できていないが、年2回実施するのが望ましい。								

総合評価 (二次評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		完了
	・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、合併特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。								

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,000	1,000	0	1,000	1,000

予算要求の概要	・沿道清掃草刈り
要求額増減理由	

①支所	作業時期により、国・県道との差が生じる。
②本庁所管課(維持課)	地域住民により環境保全(草刈清掃)を行なっていたが、集落間の距離もあるうえ過疎化や高齢化が進み作業が困難となっている
地域政策課	
樹木花等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94799	旧江戸街道保全事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3621
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7 文化財費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用する。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	江戸街道は、江戸時代、旅人や貨物輸送の主要な街道であった。この歴史的な街道から地域豊かな自然、歴史や文化に触れ、自然保護や貴重な歴史ある地域資源を守るために街道保全を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	街道草刈り等維持管理		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 草刈り修繕	算出根拠等	m	目標値	1,600	1,600	1,600	7,500
			実績値	1,600	1,600	1,600	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	-
	算出根拠等		達成率(%)				
②	算出根拠等	m	目標値				-
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
① 草刈り修繕	算出根拠等	m	目標値	1,600	1,600	1,600	7,500
			実績値	1,600	1,600	1,600	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	-
	算出根拠等		達成率(%)				-
②	算出根拠等	m	目標値				-
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	算出根拠等		達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)		(A) 95	95	100	545	
	受益者負担(使用料・負担金等)		0	0	0	0	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		0	0	0	0	
コスト面	一般財源		95	95	100	545	
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	1	6	
	② 受益者 市民(4月1日現在)	(B)	94,235	93,822	93,312	93,200	
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	歴史的な価値がある江戸街道を保存することは重要性が高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	地域の豊かな自然や歴史文化に触れ、地域資源をまもることは必要
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	多くの市民に歴史的街道から歴史文化に触れてもらえるよう維持管理を行う。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	街道草刈り等実施し維持管理を行っている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	今後も江戸街道保全を行い、貴重な地域資源の有効利用を図る。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	今後も江戸街道保全を行い、貴重な地域資源の有効利用を図る。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	草刈り等維持管理を毎年行うことで軽微な予算で保全できる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	草刈り等維持管理を毎年行うことで軽微な予算で保全できる。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	草刈り等維持管理を毎年行うことで軽微な予算で保全できる。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		20.0 / 20.0	100点換算 → 100 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	継続が必要				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・利活用につなげる必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	100	546	446	500	500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	100	546	446	500	500

予算要求の概要	旧江戸街道の整備にかかる経費
要求額増減理由	草刈り路線の増
①支所	朝日町黍生谷から高根町猪之鼻へ通じる江戸街道の内、朝日町側のみの整備であるため、高根町側へ通り抜ける事が困難である。今後高根町と連携した取り組みが必要である。
②本庁所管課(文化財課)	・文化財の保護、啓発は継続的に行うことが大切である。今後も支所間調整を含め、計画的な事業実施が必要である。
地域政策課	市内に数多くある街道の、整備すべき内容と優先順位を明確にしたうえで、施設の利用者増のためのPR等検討することが必要である。

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域振興事業補助金	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		D	その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を 全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域の団体	受益者数	1,890 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	市民自らが主体となって取り組む地域振興事業に対して補助金を交付する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 地域づくりを実施した件数		件	目標値	25	25	25
実績値				25	21		
算出根拠等			達成率(%)	100	84		-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 地域振興事業補助金の交付件数		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 地域振興事業補助金の交付件数	件	目標値	25	25	25	25
実績値			25	21			
算出根拠等	参加者数		達成率(%)	100	84		-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			3,168	2,907	3,000	3,350
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源			3,168	2,907	3,000	3,350
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)		126,720	145,350	120,000	134,000	
		受益者 活動団体(B)	25	20	25	25	
算出根拠等	補助金総額/活動団体の事業数						

3 分析・評価(Check)

必要性	評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など		
		A(2)	B(1)				
①	事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	市民が自ら行う事業であり、住み良いまちづくりの政策として重要性は高い		
		B(1)	一部結びつく				
		C(0)	結びつかない				
②	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	地域の市民の手による住環境整備、文化保存に対する要望は非常に多い		
		B(1)	ある程度のニーズがある				
		C(0)	少ない、減少している				
③	事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	朝日町地域限定の事業である		
		B(1)	概ね市民全体におよぶ				
		C(0)	わずかな受益者に限定される				
④	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	地域の住環境、伝統文化の保存に対して、十分達成している		
		B(1)	概ね達成している (75%以上)				
		C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	地域の市民の自主的な手法により、地域の環境を維持していくための、活動となっている		
		B(1)	概ね有効である				
		C(0)	見直しが必要である				
⑥	事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	本来市が管理するべきものと、地域が管理するものとのすみ分けが難しいが、地域の理解を求め改善に取り組んでいる		
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑦	コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	地域が計画した予算の内容を市の基準に合わせて精査し、改善に取り組んでいる		
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑧	受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	地域市民が自ら実施する事業として、規模も小さく概ね適正である		
		B(1)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
⑨	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	事業の内容からして、修繕事業が多く、市が直接実施する場合よりコストも低く、概ね適正である		
		B(2)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
合計		12.0 / 20.0		100点換算		60 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・平成26年度まで継続する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応を検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	3,000	3,350	350	3,900	3,900
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	3,000	3,350	350	3,900	3,900

予算要求の概要	地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成
要求額増減理由	

①支所	
②本庁所管課(地域政策課)	
地域政策課	

財務部査定の考え方	要求どおり アンテナショップ運営補助金を追加
市長査定の考え方	財務部調整どおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域要望対応事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		D	その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を 全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域の団体	受益者数	1,890 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の要望に対応する事業		
概要	事業の実施手法(手段)	地域の要望によりきめ細かな施設修繕事業を行う		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 事業実施した数		件	目標値	25	25	25	25
			実績値	25	21		
算出根拠等	達成率(%)			100	84		-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 事業実施した数		件	目標値	8	11	10	10
			実績値	8	11		
算出根拠等	達成率(%)			100	100		-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 受益者1件当たり(円)	(A/B)		目標値	119,920	195,100	140,000	302,880
			実績値				
算出根拠等	補助金総額/活動団体の事業数						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			C(0)
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくりの政策として重要性は高い	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり事業としてニーズは高い	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	朝日町地域限定の事業である	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり事業として充分達成している	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり事業として有効性は高い	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくりとして即効性のある事業である	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	最小の費用で最大の効果を上げるよう取り組んでいる	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	事業の必要性の高いものから実施しており、適正なコストである	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	小規模な修繕事業であり、市民の要望の高さから適正である	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		18.0 / 20.0	100点換算		90 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> 完了
	・平成26年度まで継続する				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> 完了
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応を検討する必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	3,500	7,572	4,072	14,000	14,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	3,500	7,572	4,072	14,000	14,000
予算要求の概要	公共施設等の軽微な修繕経費				
要求額増減理由					
①支所					
②本庁所管課(地域政策課)					
地域政策課					
財務部査定の考え方	きめ細かな地域要望対応を推進(配分額の調整による)				
市長査定の考え方	財務部調整どおり				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	種番	土地借上料	担当課	朝日支所 地域振興課		内線
					3610	
予算	会計		特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款			O B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目			D	その他事業	
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)		受益者数	
	どういう状態にしたいのか(意図)	施設用地借上		
概要	事業の実施手法(手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 施設用地	算出根拠等		m ²	目標値	28,454	28,454	28,454
土地賃貸借契約		実績値	28,454		28,454	28,454	28,454	
算出根拠等		達成率(%)		100	100	100	-	
指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
②	算出根拠等			目標値				-
	土地賃貸借契約			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)					-
	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
①	算出根拠等			目標値				-
	土地賃貸借契約			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)					-
	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
②	算出根拠等			目標値				-
	土地賃貸借契約			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)					-
	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)			910	910	910	898	
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源			910	910	910	898	
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)						
		受益者(B)						
算出根拠等								

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	C	高齢者若者センター、鈴蘭シャングエは市の総合計画、市長公約とは施設の現状から結びつかない
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	C	高齢者若者センター、鈴蘭シャングエは市民が直接利用するケースは極めて少ない
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	高齢者若者センター、鈴蘭シャングエは利用されないか極めて限られた受益者に限定される
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	市の基準となるよう、地権者と交渉中である
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	C	市の基準に適合していない
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	C	市の基準に適合していないため改善が必要である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		1.0 / 14.0	100点換算 → 7 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	完了
	施設の撤去後、借地契約を解約し地主に返却する					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	910	898	△12	898	898
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	910	898	△12	898	898

予算要求の概要	土地借上料
要求額増減理由	単価の見直しによる
①支所	市の基準に近づくような単価交渉の継続が必要
②本庁所管課(スポーツ振興課・農務課)	施設の継続的運営のため、市基準額での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
地域政策課	
	地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり